

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成 年 月 日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台1丁目1-3		氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 株式会社椿本チエイン 京田辺工場長代行 永井 康詞
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	株式会社椿本チエイン 京田辺ユニット 環境マネジメントマニュアル (ISO14001)	
適 用 範 囲	株式会社椿本チエイン京田辺工場ほか4箇所	
導 入 年 月 日	2003年 9月26日, 2004年 12月26日	
認 証 番 号	JQA-EM3392(京田辺工場), JQA-EM6522(長岡京工場 含岡山工場)	
基 本 方 針	地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置づけ、事業活動において以下の方針により自主的に環境管理活動に取り組む 1. 汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図る 2. 関連する法規制・協定および顧客要求等を順守する 3. 当ユニットに働く全ての人が環境方針の理解を深めると共に、環境保全の重要性を自覚して、その維持・向上に努める 4. 下記項目を重点テーマにあげ、目的・目標を定めて環境負荷低減に継続的に取り組みます。 (1)CO2排出量の削減 (2)エコ商品の拡大 (3)省資源・再資源化活動	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	CO2排出量の削減（2030年度に2013年度比30%削減） 再資源化・省資源化(98%以上) エコ商品の拡大 環境保全	
目標を達成するための取組の内容	添付 環境方針 環境目標 参照	
目標を達成するための取組の進捗状況	・射出成形機油圧式を電動サーボ式へ更新 ・小ロット対応連調炉の導入 ・変成炉リ・ジェネバーナー化 ・冷熱源用空冷チラー更新 ・実験用冷水ポンプインバーター化	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	前年対比生産金額が110%上昇するも、省エネ活動の実施によりエネルギー量増加量を102%に抑える事ができている。 3ヶ年目標達成に向け引き続き省エネ活動を推進していく。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	添付（経営層による見直しチェックリスト）により、事業活動を見直している	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	原則環境管理委員会を3ヶ月に1回、環境マネジメントレビューを年1回実施し、環境目標の進捗フォロー、検証及び次年度の環境目標の審議を行っている。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。